

令和5年度 沖永賞受賞の言葉

● 朴 孝淑 先生

「この度は、沖永賞という大変名誉ある賞を頂き、誠に光栄に存じます。

ご推薦いただいた先生方、審査委員の先生方に心より感謝申し上げます。

また拙著の刊行に至るまでご指導を賜った先生方、東京大学韓国学研究センターの助成と、出版社の信山様にも厚く御礼申し上げます。

今回の受賞を励みとし、今後もより一層研究に精進していきたいと存じます。」

● 梅崎修先生・南雲智映先生・島西智輝先生

「このたび、労働研究者として長い間のあこがれであり、目標でもあった沖永賞を賜り、これ以上の喜びはありません。審査に関わられた諸先生方、労働問題リサーチセンターの皆様に感謝申し上げます。

我々は20年以上の長い月日を労働史のオーラルヒストリーに費やしてきました。その間、100人以上の方にご協力いただき、延べ300回以上のインタビューを行い、その記録を公開してきました。調査を受け入れていただいた語り手の皆様に感謝申し上げます。

調査の過程では、新事実の発見があり、文字資料には残りにくい人びとの声がありました。たくさんの事実と語りをこの歴史書に込めました。オーラルヒストリーとの出会いを生んでいただいた御厨貴先生、労働史の調査の中でご指導いただいた先輩方、一緒に調査を行った研究仲間たち、速記者の方々にもこの場をお借りして感謝を申し上げます。

今回の受賞を励みに、我々はこれからもオーラルヒストリーを続けて、新しい労働史の研究成果を生み出していきたいと思っております。」